

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立児玉高等学校		Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	生徒・保護者の期待やニーズを把握するために、アンケートを実施している。学校に寄せられる期待に十分応え、更に学校の特色や強みを生かしたものとなるようにしていただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像を踏まえ、学校の取り組むべき方向が四つの柱として設定されている。やや網羅的な目標となっている。中期的な視点に立ち、課題の解決に向けて、更に重点化した内容にすることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	「児玉高校だより」を発行し地域に回覧するなど、重点目標達成に向けた取組が、生徒や保護者、地域に情報提供されている。学校全体の目標を踏まえ、分掌・学年・教科で検討される方策等を学校全体のシートへフィードバックして相互の連携を図るなど、学校自己評価の運営体制について工夫ができると更に良い。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	現状と課題に基づき、「学び直しや進路選択を考慮した教育課程の編成」など評価項目の達成に向けた具体的な方策が策定されている。方策の達成状況が確認しにくいものがあるので、生徒の変容などに着目した指標を設定するなど、連鎖をより明確にして取組を検証することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長は企画委員会を定期開催にするなど、組織力を高め、学校自己評価システムを生かした学校経営に取り組もうとしている。校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深め、課題の解決に向けて、学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	評価項目の達成状況を検証し、次年度への課題と改善策を示している。前年度の達成状況の検証を踏まえて、次年度の目標・方策の見直しを検討し、具体的な取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			